

# 「防災塾・だるま」2023年度 第15回通常総会 議案書

◆日時：2023年 5月 26日（金）13時 30 分～16時45分

通常総会 13:30～14:30  
基調講演 15:00～16:15  
防災サロン 16:15～16:45 サロン(新会員紹介等・談義の会感想)

◆会場等：さくらリビング 第一研修室(会場)及びオンライン方式との併用開催

〈議事次第〉 (総合司会 山田美智子 副塾長)

1. 開会の挨拶 塾長 鷲山龍太郎

2. 報告 (出席者確認 田中喜世美 理事)

・会員状況について・・・2023 年3月31日現在:正会員 95名

・規約第 8 条 2 項の規定により、議決は正会員出席者(リモート・回答フォーム・書面)の過半数をもって決する。

\*出席者=会場参加+オンライン参加+回答フォーム記入者

3. 議長及び書記の選出 (議長:樋口 書記:田中 晃)

4. 議事

第 1 号議案:2022 年度活動報告 ……担当 山田美智子 副塾長

第 2 号議案:2022 年度決算報告及び会計監査 ……担当 早川 雅子 理事

……担当 高橋 徳美 監査  
江上富美子 監査

第 3 号議案:2023 年度活動計画(案) ……担当 鷲山龍太郎 塾長

第 4 号議案:2023 年度収支予算(案) ……担当 早川 雅子 理事

第 5 号議案:「防災塾・だるま」第15期役員(案) ……担当 高松清美 副塾長

6. 閉会挨拶 ……担当 高松清美 副塾長

## 【第1号議案】 防災塾・だるま2022 年度活動報告

2022年5月26日(木)開催の第12回総会で承認された2022年度「活動計画」に基づいて活動を展開した。新型コロナウイルス感染拡大に対する非常事態宣言、蔓延防止措置は2022年3月で終了したが、その後も制約が多い中、新しい時代に対応した事業の実施に努めた。

### 1 本会主催事業

#### (1)「防災まちづくり談義の会」

サロン主体による「防災まちづくり談義の会」開催を計画的に実施した。

- ・サロンの柱は大切にしながらも、講師の選択等は自由度を広げて開催した。
- ・充実した記録をもとに4つの観点からの考察を深めることができた。
- ・サロン発表会でさらに考察を深めることができた。

#### (2)定例会

2021年度の反省で、会員間の意見交換を大切にしたいとの方針で開催した

- ・「防災まちづくり談義の会」との同時開催としたために、隔月開催が当初から年間計画になかった反省がある。
- ・会員の実践報告や新会員の自己紹介などは会の活性化につながるので、重視したい。

#### (3)サロン活動

2020年度よりサロン活動を継続。本会として活動を構成し、提言していくための柱を構築することができた。

- ・サロンの記録をHPにまとめて共有化を図った(一覧表を作成)。
- ・サロン活動と「防災まちづくり談義の会」を同日開催し、傾聴と発信の両立を目指した。
- ・12月15日実施のサロン発表会は盛会で、資料をHPに公開して、各サロンの研究と提言の柱を確立することができた。
- ・各サロンからの提言の柱をもとに、神奈川県水防災戦略への提言を行った。
- ・ぼうさいこくたい2023、本会としてはこれまでの16年にわたる活動の成果を発信する機会となる。サロンが取り組んできた「自助・共助・公助等連携・時事災害課題」に対応したオリジナルセッションの構想を提案することができた。

### 2 他団体・機関との連携支援事業

#### (1)城西大学での「J-DAG 訓練」支援活動 7月14日

だるま参加者:片山、樋口、高松、田中喜、吉開、田中晃

2019年度から継続し、城西大学飯塚智規先生の依頼を受け、大学での授業支援を行った。

#### (2) 神奈川大学エクステンション講座 担当:高松 山田 樋口 鷺山 受講申し込み者:37名

2022年度は、昨年度に続き、神奈川大学と連携してリモートによるエクステンション講座を開催した。

- ・各サロンからの傾聴と発信を組み合わせた内容が構成でき、各観点からの提言の方向性をさらに具体化できた。
- ・これまでの「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」とこの二年間の「エクステンション講座」の実績をベースに、ぼうさいこくたい2023の「オリジナルセッション」の構想を立案し、応募した。

#### (3) 防災ギャザリングへの参加と連携 10月29日 だるま参加者:田中喜世美 高松 吉開 田中晃 樋口 鷺山

防災ギャザリングに参加・出展した。

- ・だるまの紹介:A2 版新リーフレット掲示
- ・工夫した防災グッズを出展した。
- ・他団体と交流を深めることができた。
- ・だるまのポスター展示と案内から新会員入会があった。

#### (4) 神奈川県建築士会防災イベントとの連携 1月22日(日) 横浜そごう前

出展担当:河原 高松 早川 片山 樋口 原田 吉開 鷲山

神奈川県建築士会からの正式な要請を受け、イベントとの共済と出展を行った。

- ・休日の繁華街にて、市民や子どもたちとの交流ができた。
- ・神奈川県建築士会、神奈川県大規模災害対策士業連絡協議会、QQ 防災クラブ等との連携を確立できた。
- ・この連携をもとに、ぼうさいこくたい2023の出展を構想することができた。

### 3 情報共有・広報・新会員拡大への取組

#### (1) ホームページ 担当:樋口 増田

会員との情報共有・発信のために内容や表示方法を工夫して推進した。

- ・最新の「防災塾・だるま活動がトップになり、だれでも見やすいようにした。
- ・本会活動と、紹介したい防災情報をエリア分けした。

#### (2) 新デザインリーフレットの作成と HP 公開 担当:田中喜世美 鷲山

本会のこれまでの取組や新しい理念がわかるように、リーフレットデザインを再構築し、HPにも公開した。

- ・入会フォームの掲載 ・HPへの掲載

#### (3) Zoom 併用ハイブリッド形式の活用

2020年度から、新型コロナウイルス感染拡大予防に対応した会運営として Zoom を活用したハイブリッド型を活用した。

#### (4) 入会・連絡フォームの開設 担当:樋口 鷲山

これまで、会員登録の方法が困難であったり、本会への連絡にあたり、個人メールを表示していたりすることが課題であったが、「入会・連絡フォーム」を開設したことで課題解決ができた。

- ・入会者があると、自動返信フォームが入会者に返信されるとともに、そのコピーが副塾長と会計担当に配信される。
- ・新フォームによる入会は 11 月開設以降すでに5名あり、本会活性化が期待される。
- ・このフォームの確立により、現会員の会員情報の再構築を推進したい。

#### (5) 「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」への参加協力 担当:荏本、山田、高松、河原、鷲山、

同組織は、荏本名誉塾長を代表として県内の連携を推進している。2023年にぼうさいこくたいが神奈川県で実施されることが決定され、最善の体制で臨むための協議が重ねられた。本会としても、同組織に参画して、意見交換、提言を行った。

これらの協議と、本会会員の各所属組織との意見交換と連携づくりが行われたことと、サロンの柱に基づき、本会からの「オリジナルセッション」構想提案に到達した。

#### (6) 荏本先生退任記念誌資料集(談議の会等アーカイブ)の作成と HP 公開 担当: 田中喜世美 樋口 山田

荏本先生退任記念誌の資料として、15周年記念誌に連続する「防災まちづくり談義の会」の記録を一覧にまとめHPに公開することができた。

・今後配布用印刷を行う。

#### (7)「防災塾・だるま」カレンダーの配布 担当:田中喜世美 鷲山

毎年工夫したデザインの「防災塾・だるま」カレンダーを継続して作成、配布している。

・今年も本会活動がわかり、デザイン的に親しみやすいカレンダーを作成配布することができ、連携構築の媒体となっている。

・試みとして、歴史的災害の年月日を表記した「年度版防災カレンダー」(鷲山作成)を裏面に印刷した。

### 4 2022年度年間活動実績

月	日時	定例会・理事会 談義の会・防災サロン	活動内容 ◎連携・共済事業	定例会 参加者	談義の 会参加
5月	20日 (金)	通常総会 講演会(186回談義の 会) 防災サロン打合せ	演題:区防災計画制度創設と、現状・課題・展 望～地区防災計画を理解する「つぼ」～ 講師:加藤孝明氏氏 東京大学生産技術研究所教授	37	38
6月	16日 (木)	役員会 防災サロン			
7月	22日 (金)	定例会 第187回 防災まちづく り談義の会 防災サロン打合せ	演題:川崎市多摩区における 2019 年台風 19 号被害実態とその後から防災まちづくりを考 える ～床上浸水住宅の現実と復旧の問題点から浸 水地域・住宅の防災と課題を考える～ 講師:河原典子氏 神奈川県建築士会 防災・災害対策委員長  ◎14日城西大学 J-DAG 授業支援	17	26
8月	18日 (木)	役員会 防災サロン			
9月	16日 (金)	定例会 第188回 防災まちづく り談義の会 防災サロン	演題:地域のマルチハザード解析と対策構築 講師:落合務氏 神奈川大学建築学部助手	23	23
10 月	20日 (木)	役員会 防災サロン	「神奈川大学エクステンション講座」 10月1, 8, 15, 22日(土)  ◎防災ギャラリング出展 10月29日		
11 月	25日 (金)	定例会 第189回 防災まちづく り談義の会	演題:自主防災会会長の災害時の役割 講師:原田剛氏 QQ 防災クラブ代表 防災 士	20	25
12 月	15日 (木)	防災サロン発表会 懇親会	防災サロン発表会 XX 名参加		
12 月	22日 (木)	役員会	本年度反省と来年度計画検討		
1月	20日 (金)	定例会 第190回防災まちづくり 談義の会	演題:海洋大気の相互作用が招く気候変 講師:米山邦夫氏 JAMSTEC 大気海洋相互作用研究センター長	24	33

		防災サロン打合せ	◎神奈川県建築士会防災イベント共催・出展 1月22日(日)		
2月	16日 (木)	役員会 防災サロン協議会	防災サロン協議会 サロン活動まとめ		
3月	16日 (木)	役員会	総会議案書検討 ぼうさいこくたい2023出展 案		
4月	20日 (木)	役員会	総会議案書検討 ぼうさいこくたい2023出展 案 ぼうさいこくたい2023オリジナルセッション申込み 実施		
5月	12日 (金)	役員会 定例会	総会議案書等検討	18	

## 神奈川大学エクステンション講座報告

### 「マルチハザード社会を生き抜く防災まちづくり講座」

～改めて考える「自助・共助・公助」連携の重要性～

講座日程 13:30 から 16:00 全4回 8講座 申込み：37名

	開催月日	演題	担当講師	コメンテーター
1	10/1 (土)	マルチハザード時代を生きる防災力	落合 努	荏本孝久
		震度6強首都直下型地震に備える耐震化推進	田中栄治	河原典子
2	10/8 (土)	火災・地震・風水害を生き抜く家庭と子どもの防災	鷺山龍太郎	高松清美
		「災害時に命を守る避難行動と備え」を考えよう	山田美智子	原田 剛
3	10/15 (土)	生きのびるための「流域思考」	岸 由二	樋口 誠
		楽しく学ぶ！被災した家庭の早期復旧のための法律知識	永野 海	樋口 誠
4	10/22 (土)	自然災害と合成の誤謬の視点－分野横断的な知見と地域の 防災力	佐藤孝治	鷺山龍太 郎
		「地区防災計画」を実質的に推進する連携	鷺山龍太郎	河原典子

講師名	プロフィール
岸 由二	慶応大学名誉教授 鶴見川流域ネットワーク代表
永野 海	中央法律事務所 弁護士・防災士 日本弁護士連合会災害復興支援委員会 副委員長
荏本孝久	神奈川大学名誉教授 ※防災塾・だるま名誉塾長
佐藤孝治	神奈川大学名誉教授 防災塾・だるま顧問
落合 努	神奈川大学建築学部助手 防災塾・だるま会員
鷺山龍太郎	防災士 元小学校長 未来防災代表 マンション防災担当 防災塾・だるま塾長
田中栄治	公益社団法人S L 災害ボランティアネットワーク 防災塾・だるま前副塾長
高松清美	NPO 法人ユナイテッドかながわ副代表 防災塾・だるま副塾長
山田美智子	ひらつか防災まちづくりの会代表 防災塾・だるま副塾長
樋口 誠	まちネット緑代表 防災塾・だるま副塾長

河原典子	建築士 耐震診断士 神奈川県建築士会防災・災害対策委員長 防災塾・だるま理事
原田 剛	Q Q 防災クラブ 防災士 防災塾・だるま理事

各回の講座参加者数が必要です。各講座のまとめ（総括）が必要では？HPにも出ていないので

**【第 2 号議案】** 2022 年度決算報告及び会計監査について

## 令和4年度「防災塾・だるま」決算報告書

単位 円

収入の部	金額		支出の部	金額	
	令和4年予算	令和4年決算額		令和4年予算	令和4年決算額
前年度繰越金	264,299	264,299	主催事業	140,000	39,780
			定例・談義の会	70,000	14,000
会費収入合計	83,000	56,000	被災地から学ぶ・支	20,000	0
			サロン	10,000	0
2020年度会費	0	0	その他主催事業	40,000	25,780
2021年度会費	3,000	13,000			
2022年度会費	35,000	33,000	協働事業	30,000	10,000
2023年度会費	45,000	8,000	防災ギャザリング	10,000	10,000
2024年度会費	0	2,000	エクステンション講	5,000	0
			JDAG等防災ゲーム	5,000	0
			その他協働事業	10,000	0
協力事業	10,000	30,000	協力事業	10,000	24,000
J-DAG	10,000	0	その他協力事業	0	0
城西大学		30,000	J-DAG	10,000	0
			城西大学		24,000
			事務費	140,000	96,237
寄付金	10,000	640	オンライン会議費用	22,110	22,110
			広報活動費(チラシ)	5,000	5,130
			カレンダー制作	5,000	7,765
			ホームページ作成費	10,000	5,238
			会議費(活動支援費)	30,000	31,800
資料代	10,000	8,700	文房具他事務経費	50,000	19,454
			郵送費	10,000	4,030
			備品購入費	0	0
			手数料	5,000	110
			雑費	3,000	600
郵送分収入	2,000	740			
利息	2	2	予備費	59,191	
			次年度繰越		190,364
合計	379,301	360,381	合計	379,301	360,381

関係帳票及び 預金通帳を確 認したところ上記の通り収支は正確で であり適正に  
執行されていることを認めました。 令和5年5月20日

高橋 徳美 印

江上 富美子 印

## 【第3号議案】2023年度「防災塾・だるま」活動計画

## 1 本会主催事業

### (1)「防災まちづくり談義の会」(継続)

- ・これまで構築した4つの柱をもとにするが、会員の興味関心や要望を分析して年間計画を工夫していく。
- ・総会へのグーグルフォーム議決権行使とともに、会員希望調査による内容の充実を図る。

### (2)定例会 (継続)

2022年度の反省で、会員間の意見交換や親睦の場として大切に作る。

- ・原則として、隔月で年間6回実施する。(通常総会を含める)
- ・会員の実践報告や新会員の自己紹介などは会の活性化につながるので、重視したい。

### (3)サロン活動 (柱を維持再構築し、継続)

2021年度よりサロン活動を継続してきた成果と観点は維持するが、分科会形式は解消。

- ・今後、サロンで構築した柱「自助・共助・公助連携・時事防災課題」は維持・発展させて、活動の方針・提言の根拠としていくが、全体で語り合う活動を大切にする。
- ・談義の会の後の時間を活用して、談義の会感想や、新会員紹介や活動紹介など交流を深めたい。

## 2 他団体・機関との連携事業

### (1) 城西大学飯塚智規先生のための J-DAG 支援活動 (継続) 7月6日

2019年度から継続し、城西大学飯塚智規先生の依頼を受け、大学での授業支援を行う。

### (2) 神奈川大学エクステンション講座 (継続)

本年度のエクステンション講座は、関東大震災百周年に特化した座学と震災遺構巡検を行う。

### (3) 防災ギャザリングへの参加と連携 (継続)

- ・防災ギャザリングに参加・出展する。
- ・会員所属団体からの積極的な出展を呼びかける。

### (4) 内閣府主催 防災推進国民大会 ぼうさいこくたい2023in 神奈川 (出展希望提出・採択されれば出展)

本会が積み上げてきた、「実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座」「エクステンション講座」の実績をベースに、大教室を二日間使用して、独自イベントを展開できる「オリジナルセッション」を展開する。

## 3 情報共有・広報・新会員拡大への取組

### (1) ホームページ (継続)

会員との情報共有・発信のために内容や表示方法を工夫して推進する。

### (2) 新デザインリーフレットの作成とHP公開 (継続)

本会のこれまでの取組や理念がわかるように、リーフレットを再構築しHPにも公開し、ぼうさいこくたいでも全国に向けて展開する。

### (3) グーグルフォーム・自動返信システムの活用 (継続)

- ・グーグルフォームの自動返信システムにより、会員以外の談義の会参加希望者に Zoom アドレスを自動返信



する。

(4) 入会・連絡フォームの開設と会員情報の再構築(再構築)

・このフォームをベースに、現会員の会員情報の再構築フォームを作成し、推進したい。

(5) 「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」への参加協力 (継続)

(6) 荏本先生退任記念誌資料集(談議の会等アーカイブ)の作成とHP 公開 (印刷)

(7) 「防災塾・だるま」カレンダーの配布 (継続)

#### 4 2023年度年間活動予定

月	日時	定例会・理事会 談義の会・防災サロン	活動内容 ◎連携・共済事業
5月	26日 (金)	第15回通常総会 基調講演会(191回談義の会)	基調講演 相原延光氏 関東大震災から百年 - 写真や絵葉書で知る横濱の記憶 -
6月	16日 (金)	役員会	
7月	21日(金)	第192回談義の会 定例会①	◎7月6日(木)城西大学 J-DAG
8月	25日(金)	役員会	
9月	17(日) 18(月祝)		◎ぼうさいこくたい出展(採択された場合)
10月	20日(金)	第193回談義の会 定例会②	
11月	18日(土) 25日(土)	11月17日(金)役員会 エクステンション講座	◎神奈川大学エクステンション講座
12月	15日(金)	第194回談義の会 定例会③	
1月	19日(金)	役員会	
2月	16日(金)	第195回談義の会 定例会④	
3月	22日(金)	役員会	
4月	26日 (金)	第196回談義の会 定例会⑤	
5月	24(金)	通常総会	

★被災地訪問等は適宜実施

#### 【第4号議案】2023年度収支予算について

## 令和5年度「防災塾・だるま」予算（案）

単位

収入の部	金額		支出の部	金額	
	令和4年実績	令和5年予算		令和4年実績	令和5年予算
前年度繰越金	264,299	190,364	主催事業	39,780	50,000
会費収入合計	56,000	87,000	談義の会等（講師謝金）	14,000	40,000
2020会費収入	0	0	被災地から学ぶ・支援	0	5,000
2021会費収入	13,000	0	その他主催事業	25,780	5,000
2022会費収入	33,000	17,000			
2023会費納入	8,000	70,000	連携支援事業	34,000	80,000
2024会費納入	2,000	0	防災ギャザリング	10,000	10,000
			エクステンション講座	0	0
			ぼうさいこくたい		30,000
			城西大学	24,000	30,000
			その他	0	10,000
連携支援事業	30,000	30,000			
J-DAG	0	0			
城西大学	30,000	30,000			
			事務費	96,237	108,500
			広報活動費（チラシ）	5,130	10,000
			カレンダー制作費	7,765	15,000
			ホームページ作成費用	5,238	6,000
			会議費（活動支援費）	31,800	30,000
寄付金	640	0	印刷費・アーカイブ	0	5,000
			事務経費他	19,454	30,000
資料代	8,700	10,000	郵送費	4,030	5,000
			手数料	110	1,000
			オンライン会議費用	22,110	5,000
			雑費	600	1,500
郵送分収入	740	1,000			
利息	2	2	予備費		79,866
			次年度繰越金	190,364	
合計	360,381	318,366	合計	360,381	318,366

【第5号議案】2023年度役員について(本年度は規約上、2年毎の改選の年に当たる。

「防災塾・だるま」第15期役員名簿

任期:2023年総会～2025年総会

役員名簿改定(案)

役職		氏名	退任役員	
役員	理事	塾長(代表理事)<1名>	鷺山龍太郎 (留任)	
		副塾長 <5名以内>	山田美智子 (留任)	
			高松 清美 (留任)	
			樋口 誠 (留任)	
			早川 雅子 (留任)	
	会計 <2名以内>	早川 雅子 (留任) 田中喜世美 (留任)		
総務 <2名以内>	早川 雅子 (兼任) 田中喜世美 (兼任)			
理事 <20名以内>	田中 晃 (留任) 増田 佳恵 (留任) 江上 健 (留任) 相原 延光 (留任) 原田 剛 (留任) 松島 宗 (新任)	河原 典子(退任)		
監査 <2名以内>	高橋 徳美 (留任) 江上富美子 (留任)			

名誉塾長	荏本孝久 (留任)	
顧問	荒巻照和 上原美都男 佐藤孝治、 杉原英和 中川和之 山本俊雄 岩楯徹広 落合 努(新任)	
相談役		